

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社 あっとホーム)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R7.3.8変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目											
						1 SDG1 終結する貧困	2 SDG2 持続可能な食糧生産	3 SDG3 健康と福祉	4 SDG4 質的教育	5 SDG5 性別平等	6 SDG6 清潔な水と衛生	7 SDG7 廉価で持続可能なエネルギー	8 SDG8 働きがいのある社会の構築	9 SDG9 産業・创新・infrastructure	10 SDG10 平等のためのより公正な世界	11 SDG11 住みやすい都市と人間中心の開発	12 SDG12 持続可能な消費と生産
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本		【予定】	雇用・教育、福利厚生あらゆる雇用条件で差別のない体制を構築するため、相談窓口を設置していきたい				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本		【予定】	ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している職場いきいきアドバンスカンパニーの認証に取り組みたい			5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働基準法等の改正内容を経営者含め共有している長時間労働是正の為の時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている					8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者との交流できる環境を整える			4.4		8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			関係取引先を集め安全大会を実施、年に一回の安全パトロールでの改善点を皆で共有し改善に努めている		3			8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本		【予定】	メンタルヘルスに関する方針と計画を策定するメンタルヘルス・マネジメント検定、研修の実施		3										
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			女性雇用が50%「社員の子育て応援宣言」に登録多様な人材活躍状況をHP等で発信する			5.1 5.5		8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本		【予定】	職務や役割に応じた研修体系を整備する		4	5.5		8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働、同一賃金等の原則に沿った体制、対応を行っている			5.5		8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			年に一回の健康診断の実施、その後の経過観察「健康企業宣言」を行いたい		3			8							
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の種類、量など現状を把握し、台帳を整備している 削減の為の計画を策政する(2025-2030)								11.6 12		14.1		
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			省エネ診断の実施 新築設計計画内の省エネの実施 社屋改装への省エネの実施					7.3				13			
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			算定ツールの利用による温室効果ガス排出量の把握				7.2 7.3				12.4 13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令で規制されている有害化学物質を把握し、適切な対応の情報収集、削減の徹底に取り組んでいる		3.9		6.3		11.6 12.4						

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 【非該当】を選択した場合こちらには理由記載	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																			
						1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 			
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			地産地消を心がけ、環境に配慮した製品の提案で生物多様性保全に配慮している									6.6									15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			現場ごと廃棄物は木材、プラスチック、ボード、その他に分別し、木材は薪ストーブの薪として利用するなど取り組んでいる 端材を利用した製品の開発														13	14.1					
	【水の管理】 ・水资源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	自社の水源を含む水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定する 節水機器などへの入替					6.4 6.6															
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	エコアクション21取得していきたい				3.9		6	7						12	13.3	14	15				
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			自社製品の環境への取り組み説明を自社カタログ、HP等で行う												12.6								
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			自社管理地への太陽光パネルの設置						7.2						13								
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			天然資源、地下水、森林、環境等を生かした製品の提案を行っている												12.2	13	14	15					
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職、贈収賄禁止等を含む行動規範の整備、社内浸透を図っている																16	16.5			
公正な事業慣行	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為含む行動規範の整備、社内浸透を図っている																	16			
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本		【予定】	製品開発における特許取得など積極的に取り組みたい					8.2 8.3	9														
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し、体制を整備している 管理の徹底の周知も行っている																	16			
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ		【予定】	自社製品の原材料の把握に努める																		16		
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			取引先との対話を通じた仕入れ元状況の確認 取引先とのリスク管理の共有					5		8	10		12	13	14	15	16	17					
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成する			3				8	9	10									17		

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品使用時のメリット、デメリットの説明 製品取り扱いの説明による安全確保			3.9										12.4				
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			取引先との見える化 第三者機関の保証、検査体制 クレーム対応を社内で共有し見直す体制等を行っている									9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			製品設計時におけるライフサイクルでの環境影響の把握、説明を行っている 省エネ等級や気密など数値化、測定して提供している					6							12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			省エネ、エコ住宅の開発、モデルハウスでの取り組み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地域との対話、見学会、感謝祭などを実施し交流の中で、事業の地域への影響を把握し改善に努めている					4					9	11	12	14	15	16	17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			地域での次世代を担う人材(学生、子供)との交流、育成機械に取り組んでいる 地域団体への加盟					4						11		14	15	16	17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			補助金制度などを活用しながら、県産材、地域材の利用を提供している 信州木材認定製品の積極的な利用をしていきたい									8	9	11	12	13				
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している									8	9						17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			法令遵守を就業規則に明記している コンプライアンスの重要性を全社員に向けて発信している																16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】		責任者、CSR管理者の選定																	16
組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			適時ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている															16	17	
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	【予定】		リスクマップ等を活用してリスクの洗い出しを行い、適切な対策を講じていく リスクマネジメントの研修等も積極的に活用する																16	
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます	チャレンジ	【予定】		CSR方針の策定																	16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】		事業継続計画(BCP)の策定、定期的な訓練を実施する										9	11	13	13.1			16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】		後継者育成計画を作成し、検討を進めていきたい										8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進労働者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定